

取扱説明書

◀ L Pガス用可とう管ガス栓 (プッシュインバクトフレキガス栓) ▶

はじめに

この度は、プッシュインバクトフレキガス栓をご採用いただきましてありがとうございます。
この取扱説明書は、主として L Pガス販売事業者・L Pガス設備施工の方々を対象に L Pガス用可とう管ガス栓の取扱いについて、「製品説明」、「安全のために」、「設置工事に関する注意事項」そして「維持管理に関する注意事項」の順に作成してあります。お客様に L Pガスを安全・快適にご使用いただくため、法令を遵守し、この取扱説明書をよく読んで L Pガス消費設備の正しい設置工事に心がけてください。なお、「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律」(以下、液化石油ガス法という)、同法施行規則、告示並びに例示基準、その他高圧ガス保安協会が編集・発行する「L Pガス設備設置基準及び取扱要領(青本)」、「液化石油ガス設備施工マニュアル」等の関係基準は工事施工の基本となりますので遵守をお願い致します。

この取扱説明書には、記述説明文の前に、 や 、 が付してありますが、それぞれの表示は以下の内容を表現したものです。

危険・損害の程度

	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じる事が想定される。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の発生が想定される。
	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される。

禁止： 必ず行う：

1. 製品説明

この製品は、L Pガス用可とう管ガス栓 (以下、ガス栓という) です。
主に固定式燃焼器具(給湯器、ビルトインコンロ、業務用調理器等)の近傍に設置し、燃焼器具用ホースや金属フレキシブルホース等とねじにより接続して使用する末端ガス栓です。
燃焼器具のガス消費量に応じて選定してください。このガス栓は、液化石油ガス法に特定液化石油ガス器具として指定され、一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会(LIA)の適合性検査に合格した製品です。合格証マークを確認してください。



この製品には他に「保証書」を同梱してありますので確認してください。
なお、「取扱説明書」にはお客様に説明する内容が記載されていますので、設置後には必ずお客様に取扱い方法および保証について説明してください。

主な仕様

項目	主な仕様	
出口ねじ寸法 (管用テーパ-めねじまたはおねじ)	Rc1/2 (R1/2)	Rc3/4
空気流量 圧損水中0.1kPaのときの規格値を示す (L Pガス換算参考値)	2000 l/h以上	4000 l/h以上
使用圧力範囲	2.3kPa ~ 3.5kPa	
使用温度範囲	10℃ ~ 70℃	
使用ガス	L Pガス	
備考	「閉」から「開」の操作時は、ロック機構を備えています。つまみの色は、水色となっています。	

型式	入口側	出口側	検査孔部
MC-FICS-10A	フレキ管10A	Rc1/2	コンセント
MC-FICS-15A	フレキ管15A	Rc1/2	コンセント
MC-FICS-20A	フレキ管20A	Rc3/4	コンセント
MC-FICB-10A	フレキ管10A	Rc1/2	コンセント
MC-FICB-15A	フレキ管15A	Rc1/2	コンセント
MC-FIS-15A	フレキ管15A	Rc1/2	なし
MC-FIS-20A	フレキ管20A	Rc3/4	なし
MC-FIB-15A	フレキ管15A	Rc1/2	なし
MC-FICBO-10A	フレキ管10A	R1/2(右)	コンセント
MC-FICBO-15A	フレキ管15A	R1/2(右)	コンセント
MC-FIBO-15A	フレキ管15A	R1/2(右)	なし

(各部の名称および概略寸法は裏面をご確認ください。)

2. 安全のために

△危険

-  このガス栓は、L Pガス専用です。
L Pガス以外には使用しないでください。L Pガス以外で使用すると、機能を損なうことにより重大事故になるおそれがあります。
-  このガス栓は分解・改造をしないでください。ガス漏れ等の事故になるおそれがあります。



△注意

-  このガス栓を長期間保管する場合は湿気、ほこり等の影響を受けない場所に保管してください。
-  このガス栓は、老朽化の目安として交換期限は製造後15年です。交換期限を過ぎたものは老朽化により性能低下していることがありますので、交換をしてください。

3. 設置工事時の注意事項

△警告

-  このガス栓は、冠水のおそれのある場所には設置しないでください。
-  このガス栓の接続部に曲げ等の無理な力が加わると、ガス漏れの原因となりますので正しく設置してください。
-  このガス栓を設置する前に落下等の衝撃を与えた場合は使用しないでください。
-  有害なガス(アンモニア・亜硫酸ガス等)の影響を受ける恐れのある場所に設置しないでください。
-  設置完了後には、気密試験等の法定検査を実施し、ガス栓のつまみ(水色)が正常に動作することを確認してください。

△注意

-  このガス栓の取り付けは、液化石油ガス設備施工者が施工してください。
-  このガス栓は、供給設備側(調整器の出口、メータの入口等)に使用しないでください。圧力損失が大きくなり、必要なガス量が出なくなる場合があります。
-  ガスの流れ方向を矢印等(→)で指定しているガス栓は、入口側と出口側を間違えないよう取り付けください。
-  このガス栓に物が落下する場所、衝撃の加わるおそれのある場所に設置しないでください。
-  このガス栓は、積雪の影響を受けにくい場所に設置してください。
-  このガス栓は、水のかかりやすい場所に設置することはできるだけ避けてください。
-  このガス栓を燃焼器具の炎・排熱を直接受ける場所や放射熱を受ける場所に設置しないでください。
-  このガス栓は、「開」「閉」操作が滑らかでないものは使用しないでください。
-  このガス栓を取り付けるときには、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切削粉、切削油、ゴミの異物を完全に除去してください。
-  このガス栓の接続にシールテープは使用しないでください。
-  ねじ接続には、接続するRねじの先端2山を残し、全周に耐L Pガス性の不乾性または半乾性シール剤を使用し、シール剤がガス栓内に入らないようにしてください。
-  このガス栓の取り付けは必ず本体接続側六角部の二面幅にスパナを正しく掛け、過剰締め付けとならないようねじ込んでください。
(配管用パイプレンチをスパナの代わりに使用しないでください。)
-  接続されていないガス栓には、必ず止め栓を施してください。



4. 維持管理に関する注意事項

△警告

-  このガス栓に水をかける行為、洗剤や薬品等がかかる行為は行わないでください。腐食等によりガス漏れに至る可能性があります。
-  調査時にはガス漏れのほか、つまみの開閉操作を確認し、異常があれば新品と交換してください。
-  燃焼器具が未接続のガス栓には金属製の止め栓を施すとともに、長期間使用していないガス栓(1/2用のみ)には、誤開放による事故防止のため、「閉栓カバー」を利用してつまみが回らないようにしてください。
-  このガス栓を再使用しないでください。
ガス栓の主要部品にはゴム、樹脂部材を使用しているため、一度使用したガス栓を空気中に放置すると初期の性能(気密性)が維持されない場合があり、ガス漏れに繋がる可能性があります。
-  地震等により被災したガス栓は、強い衝撃を受け、破損及びガス漏れ等が発生することがありますので新品に交換してください。
-  風水害により被災したガス栓は強い衝撃、水浸入等による腐食で機能が損なわれておりますので新品に交換してください。



△注意

-  このガス栓のつまみ操作は「全開」、「全閉」でご使用ください。
-  ガス漏れ検知液を塗布した後は、錆等の発生を防止するために良く拭き取ってください。

販売店

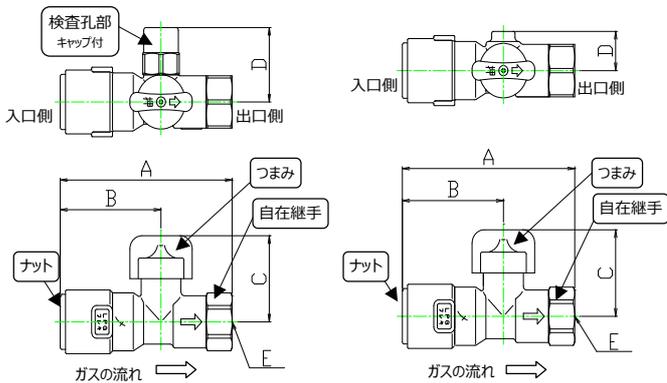
(検査孔部の取扱説明およびお客様への説明事項は裏面をご確認ください。)

 **MATSUI マツイ機器工業株式会社**

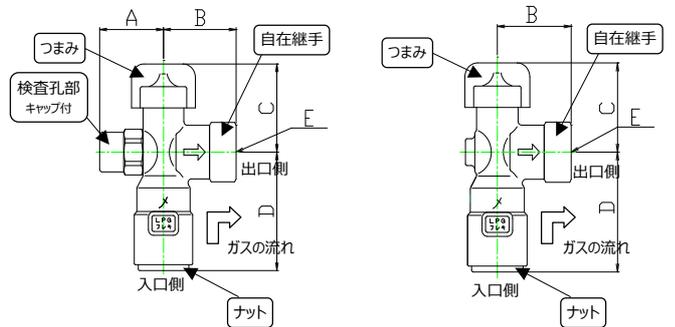
本 社 〒526-0802 滋賀県長浜市東上坂町242-5 TEL 0749-62-8770 FAX 62-8889
 沖縄支店 〒900-0002 沖縄県那覇市曙3-19-26 TEL 098-862-9009 FAX 862-9009
 中日本営業所 〒400-0862 山梨県甲府市朝氣3-22-22 TEL 055-236-8627 FAX 236-8628
 info@matsuiiki.co.jp http://www.matsuiiki.co.jp/ 

各部の名称

型 式	A	B	C	D	E	検査孔部
MC-FICS-10A	98.8	57.8	44.5	38.5	Rc1/2	コンセント
MC-FICS-15A	99.1	58.1	44.5	38.5	Rc1/2	コンセント
MC-FICS-20A	109.2	63.7	46.8	42	Rc3/4	コンセント
MC-FIS-15A	99.1	58.1	44.5	(20.2)	Rc1/2	なし
MC-FIS-20A	109.2	63.7	46.8	(23.7)	Rc3/4	なし



型 式	A	B	C	D	E	検査孔部
MC-FICB-10A	36	41	44.5	59.5	Rc1/2	コンセント
MC-FICB-15A	36	41	44.5	59.8	Rc1/2	コンセント
MC-FIB-15A	-	41	44.5	59.8	Rc1/2	なし
MC-FICB-10A	36	80	44.5	59.5	R1/2(右)	コンセント
MC-FICB-15A	36	80	44.5	59.8	R1/2(右)	コンセント
MC-FIBO-15A	-	80	44.5	59.8	R1/2(右)	なし



検査孔部取扱説明

MC-FICS-10A	MC-FICS-15A	MC-FICS-20A
MC-FICB-10A	MC-FICB-15A	
MC-FICBO-10A	MC-FICBO-15A	

【特徴】

1. 従来通りのフレキガス栓としてご使用できます。
2. 配管の空気抜きおよび気密検査ができます。
3. 燃焼器圧力が測定できます。
4. 「プッシュインバクト」機構によるフレキ管接続専用タイプです。

【取り付け工事上の注意】

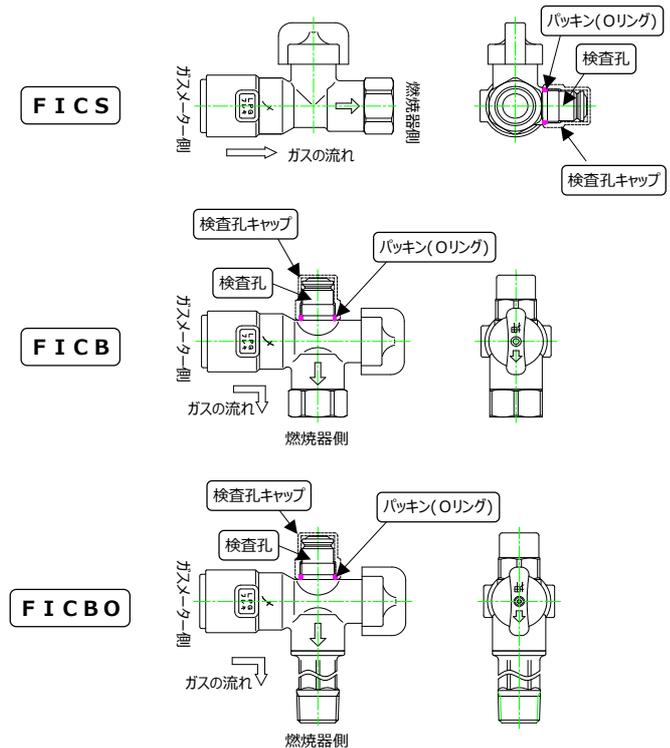
1. ガス栓の取り付けにおいては、ガス栓本体側面にガスの流れ方向が表示してありますので、これに従って取り付けください。
2. フレキ管の接続につきましては別紙「プッシュインバクト継手接続要領」を参照ください。

【気密検査および空気抜きの方法】

- A ガスメーター側の気密検査
1. メーターガス栓を「閉」にする。
 2. フレキガス栓のつまみを「閉」にする。
 3. 検査孔のキャップを取り外し、ガスコンセント用迅速継手を差し込む。
 4. 記録計のホースを迅速継手に取り付けます。
- B ガスメーター側および燃焼器具側の同時気密検査
1. メーターガス栓を「閉」にする。
 2. フレキガス栓のつまみを「開」にする。
 3. 検査孔のキャップを取り外し、ガスコンセント用迅速継手を差し込む。
 4. 記録計のホースを迅速継手に取り付けます。
(メーターガス栓開で燃焼器圧力の測定も可能)
- C 配管の空気抜き
1. メーターガス栓を「閉」にする。
 2. フレキガス栓のつまみを「開」にする。
 3. 検査孔のキャップを取り外し、ガスコンセント用迅速継手を差し込む。
(迅速継手開放)
 4. メーターガス栓を「開」にし、空気抜きを行う。

【検査孔キャップの取り扱い注意事項】

1. 検査孔使用後は必ず検査孔キャップを元通りねじ込んで取り付けてください。
2. 取り付ける前に、検査孔側にパッキン(オリング)が付いていることを確認してください。
3. 取り付けや取り外しは、スパナまたはモンキーレンチを使用してください。
4. 取り付け後、手では緩まないことを確認してください。



お客様への説明

下記の事項をお客様に説明してください。

- ⚠ 危険
- このガス栓は、L Pガス専用です。L Pガス以外には使用しないでください。L Pガス以外で使用すると、機能を損なうことにより重大事故になる恐れがあります。
 - このガス栓は分解・改造をしないでください。ガス漏れ等の事故になる恐れがあります。
 - このガス栓は、液化石油ガス設備士以外の方が、接続・取り外しを行うことは禁止されています。
- ⚠ 警告
- このガス栓に物を落とし、衝撃を与えないでください。
 - このガス栓に水をかける行為、洗剤や薬品等をかける行為は行わないでください。腐食等によりガス漏れに至る可能性があります。
 - このガス栓に燃焼器具の炎や排熱、暖房機等の熱を当てないでください。
 - ガス臭いと思ったら窓を開けガスの使用を中止し、L Pガス販売業者へ直ちに連絡してください。
(着火する可能性がありますので、換気扇を回さないでください。)

- 1 燃焼器具が未接続のガス栓には、L Pガス販売業者に依頼し、金属製の止め栓を施してください。
- 1 つまみの開閉操作が滑らかでない場合は、L Pガス販売業者に連絡してください。

⚠ 注意

- 1 不用意にガス栓が閉まってしまうことを避けるために、付近にものを置かないでください。
- 1 長期間ガスを不使用なときは、つまみを閉の状態にしてください。
- 1 地震等により被災したガス栓は、強い衝撃を受け、破損及びガス漏れ等が発生することがあります。また、風水害により被災したガス栓は強い衝撃、水浸入等による腐食で機能が損なわれておりますのでL Pガス販売業者に相談してください。
- 1 このガス栓は、老朽化の目安として交換期限は製造後15年です。交換期限を過ぎたもの、期限内であっても性能等に異常を生じた場合は、L Pガス販売業者に依頼し新品に交換してください。

このガス栓について、お気づきの点、不明な点がございましたら、L Pガス販売業者、またはマツイ機器工業までご連絡してください。